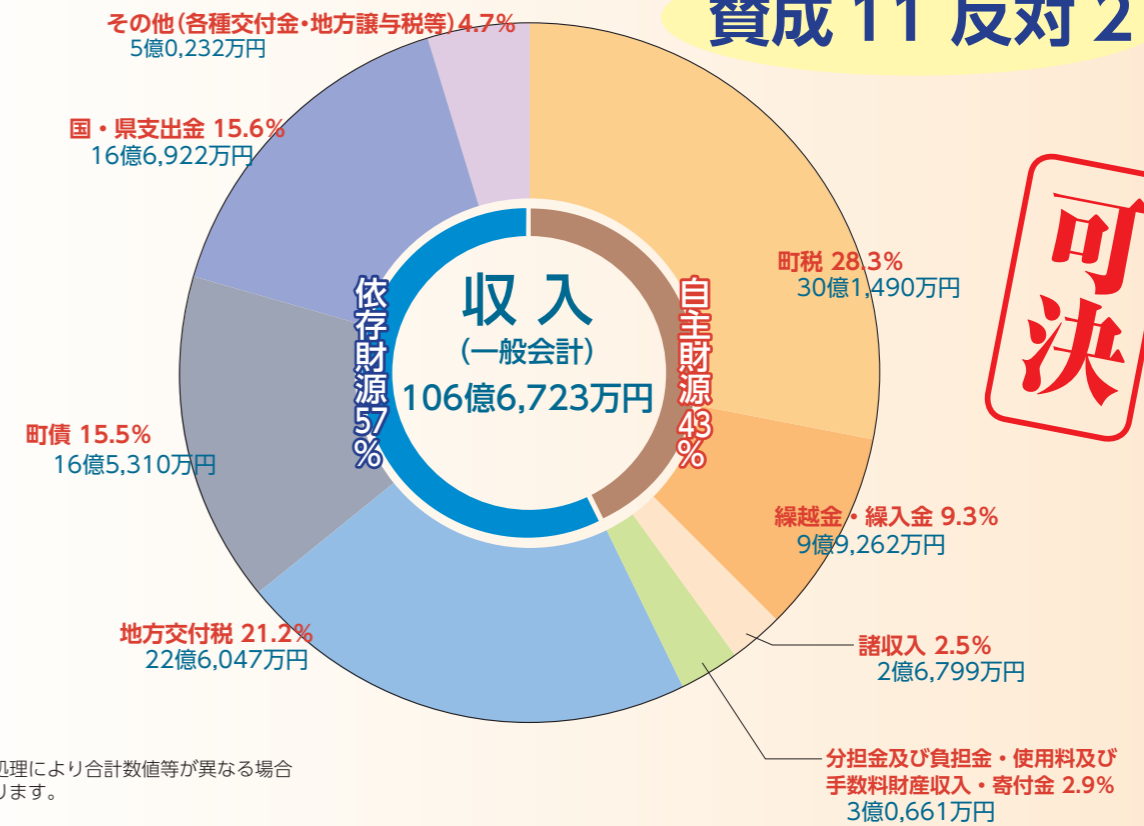


9月定例会

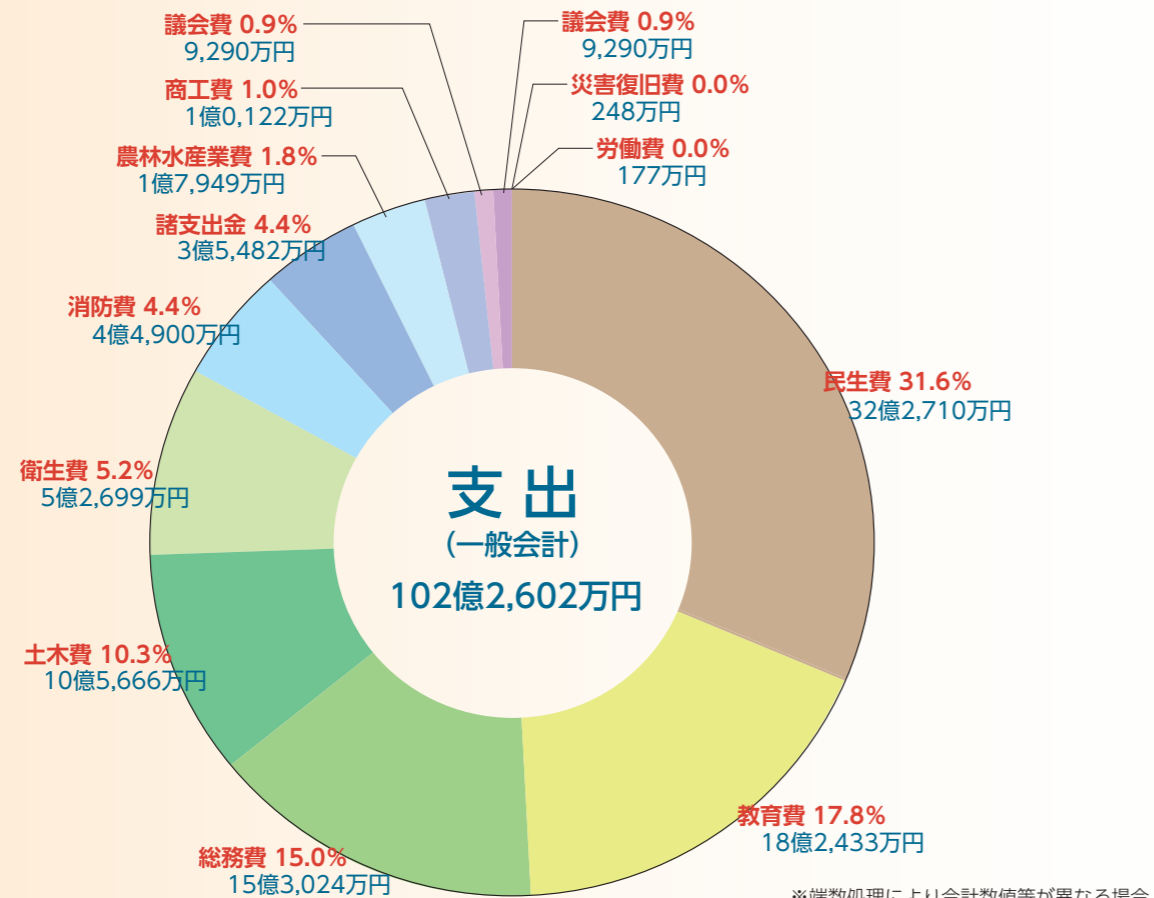
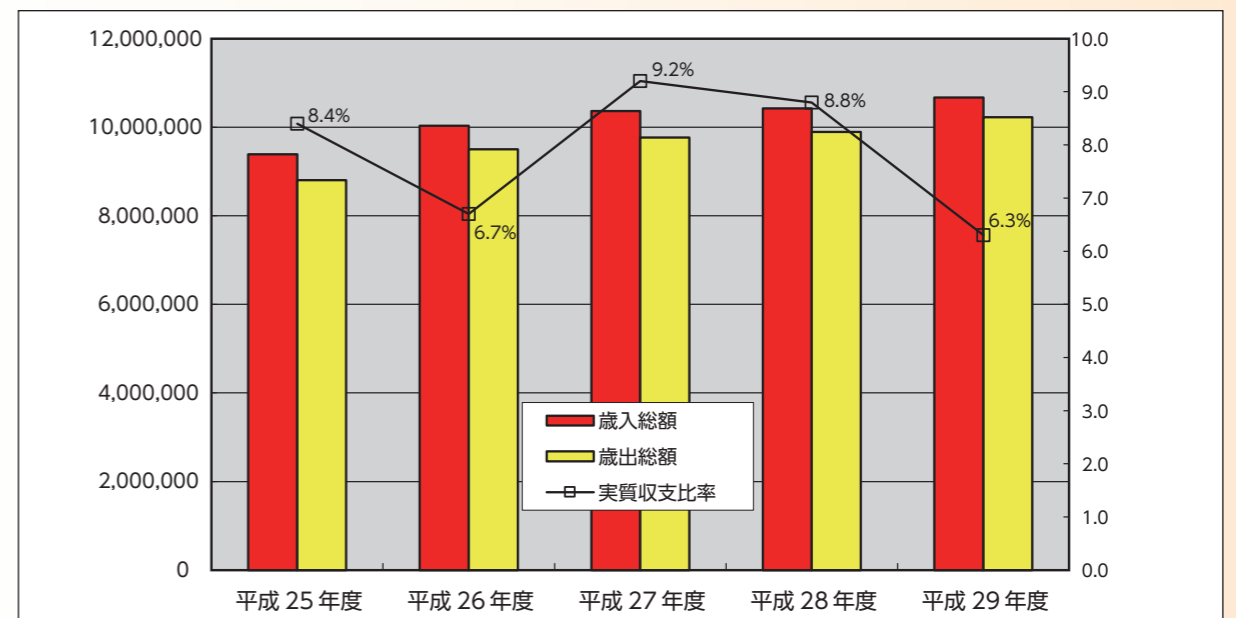
29年度一般会計決算認定

賛成 11 反対 2



※端数処理により合計数値等が異なる場合があります。

過去5年間の決算状況



※端数処理により合計数値等が異なる場合があります。

平成 29 年度一般会計における決算は、歳入が 106 億 6,723 万円、歳出が 102 億 2,602 万円で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額 (形式収支) は 4 億 4,122 万円の黒字となった。また、形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支は、3 億 6,285 万円となった。(※端数等の関係で、1 万円単位の誤差が生じています。)

監査委員の審査報告・意見

- 審査に付された決算書および付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数も正確である。また、決算書の内容、予算の執行状況も適正であることを認める。
- 愛荘町監査委員 山本 憲宏
同 伊谷 正昭
- 適正な職員の育成指導について**
平成 29 年度決算審査に関し、次の 7 項目について監査委員の意見とする。
 - 給食費の不正流用について**
秦荘西小学校で、給食費の不正流用事件が発覚した。このような事件防止のためにも、内部牽制が発揮されることを望む。
 - 適切な発注業務について**
各業務がスムーズに進むために、十分な事前準備を行い、適期に発注されるよう努められたい。
 - 指定管理者制度のあり方の検討について**
指定管理者制度のあり方について再検討を行い、適切な施設運用が行えるよう努められたい。
 - 企業誘致について**
町の税収確保や雇用の拡大のために、企業誘致は積極的に進めていく必要がある。周辺のインフラ整備も必要と考える。
 - 施設の長寿化の対応について**
建設後、かなりの年数を経過した公共施設が多く、施設の長寿命化対応が必要であると考ええる。
 - 高齢者の見守りについて**
高齢者にかかる予算が毎年膨れ上がる中、地域全体で高齢者の見守りできるよう、町としてのサポートが求められる。